

「憲法守って暮らしに生かそう！」 9の日宣伝 in 新宿



1月9日(金)氷雨が降りしきる中、新宿西口「9の日宣伝」が行われました。宣伝には、全国共同センターと東京共同センターから18団体68人が参加しました。新婦人本部の西之原恵美子さんの司会で、6人の弁士が通行人に訴えました。

全労連・大黒作治議長は「年越し派遣村の取り組みでは、仕事・住み食事の確保を国に要求する中で、厚労省の講堂を開けさせるなど成果をち取った。人として生きる権利を保障する憲法25条と、悲惨な戦争を返さないように定められた憲法9条を守らせる運動を強めましょう。」しました。

民医連・鈴木篤会長は派遣村に民医連から20人の医師・看護師が参加したことに触れ、「命と健康の最大の敵は戦争だ。私たちは憲法9条を守るため奮闘する。」と決意を新たにしました。東京自治労連・荻原淳委員長は「公務員は憲法を守る義務がある。戦時中公務員は赤紙を配らされたが2度と繰り返さないと決意している」と、新婦人・高田公子会長は「敗戦後日本は再び軍隊を持たないことを国際公約したが、今では軍事費が教育予算を上回る。63年間守り続けてきた憲法を何としても守り抜きたい。」と決意を述べました。

全商連・西村富佐多副会長は「麻生内閣の支持率は17%というところまで落ち込んだ。麻生首相は3年後の消費税引き上げを明言しているが、これを許さず中小零細企業の営業を守っていきたい。」と、日本共産党・池田真理子衆院東京比例ブロック予定候補は「派遣切りについて日本共産党は、志位委員長がトヨタやキャノン、いすゞに乗り込み、国会デモ追及して雇い止めの中止・撤回を求めてきた。今年は総選挙の年で政治の流れを変えるチャンス。ともに頑張りましょう。」と訴えました。

